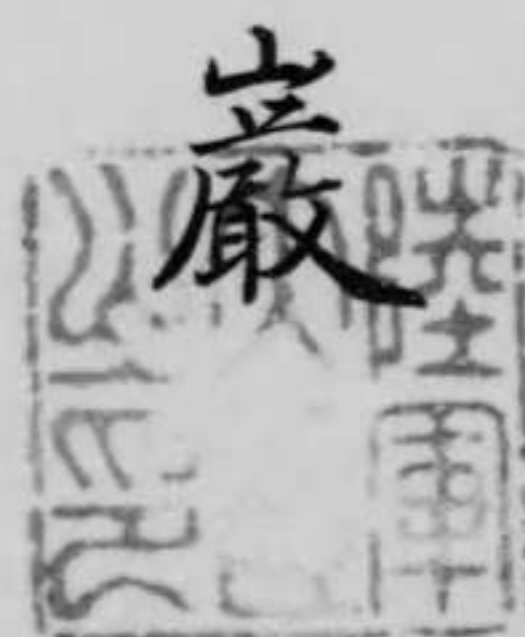


明治二十一年五月

師團司令部條例制定鎮台條例廢止旅團司令部條例制定大隊區司令部
條例制定衛戍條例制定陸軍團隊配備表制定陸軍管區表制定之件



陸軍大臣伯爵大山



左之通奉 仰允裁候也

師團司令部條例旅團司令部條例制定鎮臺條例
廢止大隊區司令部條例衛戍條例陸軍團隊配備

陸軍管區表別紙之通制定相成度

勅令按

朕鎮臺條例ヲ廢止シ師團司令部條例制定ノ件
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治三十一年五月十二日

總理大臣
陸軍大臣

勅令第廿七號

師團司令部條例左之通定ム

陞
宣
卷

師團司令部條例

国立公文書館
National Archives of Japan

師團司令部條例

第一條 師團長ハ中將ヲ以テ之ニ補シ直ニ

皇帝陛下ニ隸シ師管内ニ在ル軍隊ヲ統率シ

軍事ニ係ル諸件ヲ総理ス

第二條 師團長ハ師管内軍隊ノ出師準備ヲ整

理シ又徵兵ノ事ヲ統轄ス

第三條 師團長ハ部下軍隊ノ練成ニ就テ其責

ニ任ス但特科兵専門ノ事ハ當諛兵監ノ責任

ニ属ス

第四條 師團長ハ不虞ノ侵襲ニ際シ師管内ノ

防禦及陸軍諸官廨諸建築物ノ保護ニ任ス
府縣知事地方ノ靜謐ヲ維持スル為メ兵力ヲ
請求スル時事急ナレハ師團長直ニ之ニ應シ
テ後陸軍大臣及參軍ニ報告ス可シ若其事變
危險ニレテ府縣知事ノ請求レ能ハサル例外
ノ場合ニ在テハ師團長ハ兵力ヲ以テ便宜事
ニ從フコトヲ得

第五條 疾疫其他例外ノ場合ニ方リ師團長一
時其部下軍隊ヲ移轉セシメントスル時至急
ヲ要スレハ之ヲ實行シテ後陸軍大臣及參軍

ニ報告スヘシ

第六條 師團長ハ師管内ニ在ル軍隊及陸軍官
廨ニ於ケル風紀軍紀ヲ統監シ軍法會議ヲ管
轄ス

第七條 師團長ハ軍政及人事ニ係ル事ニ就テ
ハ陸軍大臣國防及出師計畫ニ係ル事ニ就テ
ハ參軍教育ニ係ル事ニ就テハ監軍ノ區處ヲ
受ク師團長ハ此三官ニ對シ各其主任ノ事ニ
就キ定期或ハ臨時報告ヲナスヘキモノトス
第八條 特科兵専門ノ事ニ付師團長意見アレ

ハ直接ニ之ヲ當談兵監ニ告知スルヲ得

第九條 師團長ハ隨時ニ部下ノ軍隊ヲ檢閲シ
毎年教育期ノ終リ即チ機動演習ノ後ニ於テ
全師團教育ノ結果能ク實戰ノ目的ニ適スル
ヤ否又其出戰整備完全ナルヤ否ニ就キ監軍
ヲ經テ 奏上ス

第十條 師團長赴任ノ節師團司令部所在地ノ
府縣知事警視總監大審院長控訴院長檢事長
始審裁判所長及檢事^{上席}トハ三日以内互ニ
訪問シ其師管内ノ府縣知事控訴院長檢事長

及始審裁判所長及檢事^{上席}トハ三十日以内
互ニ移文訪問スヘシ但共ニ官等卑キ者ヨリ
先ニス可シ

第十一條 師團司令部ハ左ノ諸部ヨリ成ル

一 參謀部

二 副官部

三 法官部

四 監督部

五 軍醫部

六 獸醫部

第十二條 參謀部及副官部ノ將校ハ參謀長ノ監視ヲ受ケ各自擔任ノ事務ヲ司リ其師團長ニ具申スヘキ事ニ就テハ先ツ參謀長ノ承認ヲ得ヘキモノトス

第十三條 法官部理事監督部長軍醫長獸醫長ヨリ師團長ニ具申スヘキ事ニ就テハ先ツ參謀長ニ開陳スヘシ

師團司令部職官表

分課	本部							合計	備考
	師團長	參謀部	副官部	計官	法官部	監督部	軍醫部		
官 等	中將	參謀長 參謀	副官 副官	副官	理事	軍醫長	獸醫長	一	一
大佐並 中佐並 小佐並	相當官	相當官	相當官	相當官	相當官	相當官	相當官	四	二
大尉並 中尉並 少尉並	相當官	相當官	相當官	相當官	相當官	相當官	相當官	十二	三
准士官	曹長並 一等曹長 二等曹長	相當官	相當官	相當官	相當官	相當官	相當官	十八	七
計	一	一六	一六	三	六	七	二	三十五	三

備考
一 監督部、定員ハ監督部條例ニ定ムル所ニ依ル
二 理事録事、定員ハ本表ニ掲グル如シトモ第一師團ニハ理事五名録事七名第四師團ニハ理事一名録事二名ヲ増加ス又理事録事ノ官等ハ別ニ定ムル所ニ依ル
三 軍醫部大尉相當官、部員、軍醫藥劑官各一名トス

師團司令部條例制定鎮臺條例廢止之理由
書

先般監軍部ノ組織ヲ被改更ニ監軍ヲ被置候ニ
付鎮臺司令官ノ責任及權限注日ニ異ナルモノ
アリ又徵兵令ヲ改ムルニ就キ其事務ニ関シ鎮
臺司令官及旅團長ノ職務上ニ影響スル所少ナ
カラス因テ鎮臺條例ノ改正ヲ要ス抑モ明治六
年七月癸布ノ鎮臺條例ハ主トシテ平時地方鎮
壓ニ係ル制度ニシテ建制上戰時團隊ノ編制ト

陸軍省
相関スル所少ナク該條例中一將官ヲ指シテ或
ハ軍管司令將官ト云ヒ或ハ鎮臺司令將官ト云
蓋シ地方ノ事務上ト軍隊ノ統率上トニ付テ此
称呼ノ區別アルナリ十二年參謀本部及監軍本
部設置ニ付本條例ノ改正アリ乃チ全ク軍管司
令將官ノ称呼ヲ廢シ鎮臺司令官ノ称呼ノミヲ
存シ且鎮臺司令官ハ有事ノ日旅團長トナル丁
ヲ定メタリ而シテ鎮臺司令官ノ称呼ハ主トシ
テ地方軍事長官ノ意義ヲ帶フルモノトナレリ
十四年又少シク條例ニ修正ヲ加ヘタリト雖モ

著シキ變革ナシ十八年軍備擴張ニ際シテ條例
ヲ改正シ各軍管ニ於テ平時師團ヲ配置スルノ
明文ナシト雖モ其實師團ノ諸兵ヲ配備スルニ
決シ條例中ニモ亦鎮臺司令官即師團長云々ノ
明文アリ其他平時演習ニ於テハ師團ト稱シ又
師團番號ヲ平時ヨリ示定スルニ至レリ此則チ
平戰兩時ノ建制ヲシテ一致セシムルカ為メナ
リ

蓋シ昔年一軍管ハ一軍ヲ出タシ一師管ハ一師
ヲ出タスノ制ナリト雖モ其實兵備未タ全カラ

陸軍省
ス一軍管ニ於テ僅ニ能ク一旅團ノ兵ヲ率クル
ニ過キサリシ故ニ軍管司令官ハ軍團長ニ非ス
師管司令官ハ師團長ニ非ス平戦両時ノ建制一
致セサルヲ以テ已ムヲ得ス軍管司令官ト呼ハ
スシテ鎮臺司令官ト称シ師管司令官ト呼ハス
シテ營所司令官ト称シタルナリ
抑モ名實相適セサル為メ特別ノ名称ヲ下タス
ハ目今實際ニ於テ其必要ヲ見ス蓋シ千八百七
十年前佛國ノ軍制ヲ觀ルニ地方司令官ト常備
師團長トハ其職ヲ異ニシ猶ホ我鎮臺及營所司

令官ヲシテ地方ノ事務ヲ擔任セシメ別ニ師團
長及旅團長ヲ置キ之ヲシテ常備軍隊ヲ統率セ
シムルヲトシ其後軍制ヲ改革シ全國ヲ分テ十
八軍管トナシ各軍管内ニ常備一軍團ヲ置キ軍
團長ヲ以テ地方ノ軍事長官トナシ以テ軍管ノ
事務ヲ掌ラシム是ニ於テ平戦両時ノ建制一致
スルヲ得タリ我鎮臺ノ制初メ佛國ノ制ニ倣ヒ
シモノナレハ今復タ之ニ倣テ改正スヘキナリ
目下我邦財政ノ困難ナルカ為メ師團ノ編制未
タ完カラスト雖此步兵ハ本年ヲ以テ完備シ其

他諸兵ノ編制モ漸次其緒ニ就ク宜シク今日ヲ以テ平戰兩時ノ建制ヲ一致セシムヘシ即チ宜シク鎮臺及營所等ノ名称ヲ廢シテ師團司令部及旅團司令部ト稱シ軍管及師管ヲシテ名實相合セシムヘキナリ

注者陸軍創設ノ日ニ方テハ後來ノ目的ヲ公衆ニ標示スル為メ姑ク夸大ノ名称ヲ掲ケ先ツ公衆ヲシテ之ヲ認知セシメ以テ漸次事實ノ擴張ヲ謀ルハ實ニ當然ノ政畧ナリ然レ氏目今軍政ノ大綱漸ク整序シ細目益々精密ナルニ方リ建

制ノ基本ニ於テ名實相差フモノアルハ缺典ト謂ハサルヘカラス然ノミナラス或ハ却テ公衆ノ疑訝ヲ生セン故ニ此際其改稱ヲ決行シテ其實ニ就クヲ要ス況ヤ地方分畫ノ名称ハ全ク現在スル團隊ヲ補充スル為メニ要用ナルソミニ於テヲヤ

故ニ自今日本帝國ハ兵丁徵募ノ為メ北海道ヲ除キテ六師管ニ分チ各師管ニ於テ常備一師團ヲ編制シ之ヲ管内要地ニ屯駐セシムヘシ師團長ハ則チ地方ノ軍事長官ニシテ師管ノ事務ヲ

掌ルヘシ

是迄屢次訂正ノ條例ヲ觀ルニ鎮臺ノ語意種々
ナル如クナレ氏到底軍管ノ首廳ヲ云フ而シテ
鎮臺條例ハ則チ此首廳ノ條例ナルヲ論ヲ待タ
ス乃チ之ヲ師團司令部條例ト改稱スル方穩當
ナリトナス所以ナリ

勅令按

朕旅團司令部條例制定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ

公布セシム

御名 御璽
明治三十一年五月十九日

總理大臣
陸軍大臣

勅令第六號

旅團司令部條例制定ノ件